

事業実施報告書

事業名 児相の保護対象外や刑余者など、頼れる親族がなく住まいのない困窮女性を支援し生活再建につなげる事業

1 事業の目的

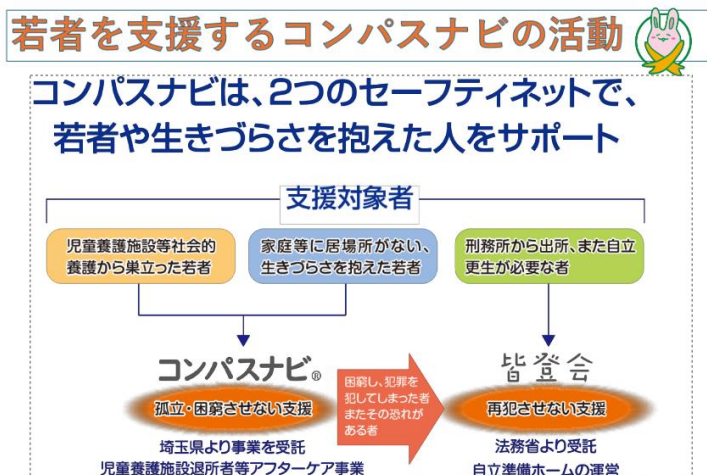
コロナ禍以来、18才以上で児相の保護対象外や刑余者など、頼れる親族がなく住まいのない困窮女性からの支援相談が増えている。コンパスナビの属する母体会社グループで保有している久喜市にある施設を住まいとして提供し、管理人スタッフの増強と設備環境の更改をし相談者を受け入れやすい体制を充実させ、緊急的な避難から生活再建につなげていくことを目的とする。

2 事業内容

(1) 事業の概要

- ・文字の説明と合わせて、事業の全体像が分かる図表などを使った概念図（イメージ図）を記入してください。

コンパスナビの支援の全体像は以下の図のように設定しています。



相談者は自力では解決できない複数の課題を抱えてコンパスナビに相談に来ます。

債務・妊娠・同居人（家族）のDVからの逃亡・精神疾患などです。

当団体は、夜間祝祭日の緊急避難のための1日～1週間の宿泊場所の提供、就労を目指す者に住所を定めることで生活再建の足場にすることを事業としています。

法テラス、ピッコラーレ、警察、病院など専門性を有する他団体や行政機関と連携して課題の解決をはかっていきます。

これまで頼れる先を見つけられないまま孤立し問題を複雑化させてきた相談者に、滞在中に金銭管理教育など社会的スキルを身に着ける講座の開催や、既に培ってきた近隣の応援者との料理教室などの交流の中で人を信頼する、適切に頼ることの大事さに気づく機会としています。

生活・自立支援

ホームレス

- ★シェルター・シェアハウスとの連携
- ★ホームレス支援団体との連携
- ★埼玉県住宅供給公社との連携
- ★仕事・住まいの支援



借金・ネットトラブル

- ★法テラス、弁護士との連携
- ★自己破産に伴う家計簿作成の支援
- ★金銭管理研修の実施



貧困

- ★困窮者支援行政窓口との連携
- ★生活保護申請への同行・見守り
- ★寄贈品（衣料、生活用品、食品）の提供



パパ活・風俗

- ★女性、風俗専門支援団体との連携
- ★トラブル解決では弁護士と連携

妊娠

- ★妊娠専門支援団体との連携
- ★母子支援施設との連携



精神的に不安定

- ★医療機関との連携
- ★障害者支援団体との連携



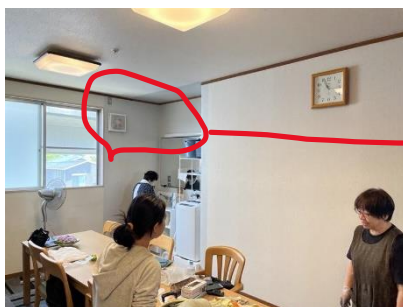
本事業では久喜市にある施設・人的体制を整備し緊急避難の住まいとして活用する

コンパスナビの母体グループが保有する久喜市のシェルターがあり、これまで女子刑務所仮出所者・少年院出院者の保護観察処分の者たちの帰住先として運営しています。親族や同居人からのDVがあった者で、コンパスナビへの相談者の緊急避難場所として活用した事例は以前からありました。このシェルターに管理人スタッフの増強と設備環境の更改をし、相談者を受け入れやすい体制を充実させ、緊急避難から生活再建につながるしくみを整えていくことを本事業にて行います。

(2) 事業の流れ

- ・事業開始後、時系列で取り組んだ内容を記入してください。
- ・催し等の日時・会場・回数・対象・参加者数などを具体的に記入してください。
- ・事業の様子が分かる写真（とその説明）を数枚貼り付けてください。

●7/22 食堂にエアコンを設置できました。品物が払底しており、工事着手まで時間がかかりました。この設備更改により食堂の機能が格段にアップしました。洗濯、洗顔、作業台、交流場所、台所、冷蔵庫、電子レンジのある場所でフル活用開始です。10月いっぱいまで暑さが続いていきましたので、この時期に設置できて入所者のQOL向上に寄与できました。（換気扇を外してエアコンを設置）



●月に3～4回、入所者とコンパスナビ職員が一緒に食事を作る機会を設けています。日々やっと暮らしてきた、DVから逃げてきた、ホームレスであった、債務などで心身疲弊していた相談者たちが安心して眠ることができ、談笑しながら食事を摂れる感覚を取り戻していく姿は「食べることは生きること」と生命力が回復しつつあるバロメーターになっています。就労の意欲醸成にもつながっています。



●月に1~2回、近隣の方々と交えて交流のイベントを開催しています。自分たちの生活再建をそっと見守ってくれる方々と一緒になって絵手紙を描いてみたり、藍染体験、健康体操やうどん打ち、お菓子づくり、味噌づくりをしてきました。ほぼ6名~14名の参加があります。

6/3 藍染め

6/17 絵手紙



6/22 センターのホールを活用しての**保護猫イベントの日**、入所者たちは大量のスタッフ用のおにぎりと豚汁を手際よく作ってくれました。



8/5 書道教室 名前を書くことに自信が持てた。
した。

12/19 あんこを炊いておはぎ作りをしました



10/21 ゆるゆるストレッチ 心も体も解放します。そのあとの食事会は格別です。



1/23 加須うどん打ち 加須元気プラザから講師を派遣していただきました。



2/27 お雛様のセッティング、味噌作り



◆出張保健室 健康状態、季節の留意点、女性特有の悩みなどを毎月1回土曜日にピッコラーレの相談員と話します。機微なものが多い状況です。

◆金銭管理教育 職員が入所者の状況に応じて随時実施

◆地域交流イベント開催日時

6/3 藍染イベント

6/17 絵手紙講座

6/22 保護猫イベント

7/1 生春巻きづくり（七夕）

8/5 書道教室

8/19 脳トレ（認知行動療法アレンジ）

9/2 3月に仕込んだ味噌の試食会

10/7 絵手紙講座

10/21 ゆるゆるストレッチ

11/18 笑文字講座

11/2 ゆるゆる年賀状作り

12/19 あんこを炊いてお菓子作り

1/23 加須うどん作り

2/27 味噌づくり

イベントチラシ（毎月発行し、自治会、更生保護女性会に配布、センターの玄関前に設置）



（３）連携・協力機関

認定 NPO 法人ピッコラーレ、東京スター銀行、アスポート、一般社団法人 Masterpiece, NPO 法人サンカクシャ、さいたま保護観察所、法テラスさいたま、認定 NPO 法人さいたまユースサポートネット、更生保護女性会、子ども食堂ネットワーク

３ 成果及び今後の展開

- ・実施事業が団体全体の活動に及ぼした成果、効果、助成事業を行うことにより見えてきた新たな課題などを具体的に記載してください。

2024 年 10 月、一般社団法人皆登会は、一般社団法人コンパスナビと統合し、生きづらさを抱えている人たちを支援対象者と明確に位置付けて事業を進めてまいりました。

この助成にて、食堂のエアコン設置が実現できたので、広いレクリエーションルームでのイベント、食堂そばで小規模で水回りがあった方が都合がいいイベントと、バリエーションが生まれました。古くからのこの地域に住まう方々にとって、今あの建物はいったい何をしているところかといぶかしく思われていたところ、保護犬（2023 年）・保護猫イベントを通して認知されるようになりました。また頻回に食事会を伴うイベントを開催することができました。結果、いつのまにか広い年代の方々の居場所の一つになりつつあります。畑で採れたものを持参する方や、手芸などの技能を生かして教えてくれる方が複数名現れて、困難な人たちを支援する拠点以上の効果が生まれつつあります。令和 6 年度は助成金をいただき、背負っている困難から生活再建を目指そうとする人たちを、私たちの団体と同じ気持ちで支えてくださる多くの人たちに出会うきっかけとなりました。また管理人アルバイトのいる安心感の効果は大きく、原資の調達が大きな課題ではありますが、近隣の支援者や、元入所者等、柔軟性を持たせながら持続可能な方途を探っていく所存です。